

校長室だより

No. 19

平成 27 年 9 月 18 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず  
加藤嘉一

### 東日本豪雨の被災校 授業再開の記事

私は東日本大震災以降、ずっと心の葛藤があります。あれだけ大きな災害があったにもかかわらず、自分は何もできていないからです。

東日本大震災があったその夏、私は被災した石巻市の校長先生方（小学校から高校までさまざまな校種）からお話を聞く会に参加する機会がありました。地震が起こった直後からライフラインが寸断され、全国が目にしていただろうような情報を一切知ることができず、川を挟んで向こう側に見えた隣の学校の状況さえわからなかった校長先生方。その校長先生のお一人がおっしゃった話の中に、「非日常化された震災後の子供たちにとって、日常を取り戻すことが子供たちの心を救う最善の方策」であり、全力を尽されたお話を聞きしました。

今回の東日本豪雨で激流に家が流される映像を見て、東日本大震災の津波を思い出した人がいるのではないのでしょうか。この豪雨も甚大な被害をもたらしました。今は片付けのごみも問題になっているという報道を見て、被災地の大変さを慮っていました。そうしたなか、9月16日（水）の yahoo!ニュースで「東日本豪雨 児童に笑顔 小学校2校で授業再開」の記事を見つけました。「良かった」と思いました。その学校の校長先生は、全校集会で「いろいろな人のおかげで学校が再開できた。感謝の気持ちを忘れないで、痛みの分かる人間になってください」と話されたそうです。きっとこの学校の子供たちは、深い意味を持つ言葉であることを読み取り受け止めただろうと想像します。その昔水害で苦しんだ六ツ美地域に住む私たちにとって、他人事ではなく感じました。

昨日の木曜朝会で、東日本豪雨で家を失ったり、避難生活をしたりしている人の状況について、自分なりに考えてみてほしいことを話しました。困っている人たちの状況を想像し、思いやることができる人であってほしいと思います。何もできていない自分自身をまた棚に上げ、偉そうなことを言っている自分に再び葛藤ですが・・・。



【産経フォトより】 14日午後  
茨城県常総市（川口良介撮影）

地域の方に感謝 ー手紙の返信 敬老会よりー

9月12日(土)の祖父母参観デー・学区敬老会に、大変多くの方に御来校いただきました。ありがとうございました。うれしいことに、敬老会でお渡しした子供たちの手紙を読み、本人宛に返信のお手紙を学校へ送ってくださった方がいらっしゃいました。本当にありがとうございました。このことを全校の子供たちにも紹介しました。(御無理はされなくて結構です)自分たちの行動によって幸せのスパイラルができたことを実感したと思います。一部を御紹介します。



お手紙ありがとうございます。かわいいイラストがたくさん描いてありました。

おじいちゃんは、今年ではじめて敬老会に入りました。敬老会に出られるには七五年生きないと入ることはできません。よかったです。私は〇年の〇〇〇〇のおじいちゃんです。元気でネ。バイバイ。

お手紙ありがとうございました。〇〇ちゃんよりなんばいも生きてこれたことありがとうございます。みんなで歌ったコーラス、元気いっぱいもらいました。とってもじょうずでしたよ。六中小の校歌いつ聞いても胸がきゅんとなります。

じいじもあばも元気でまい日すこしいきたいと思います。元気でたのしい日をすごしてね。

合唱部 CBC子ども音楽コンクール出演

■ CBCホールにて(名古屋)

■ 九月十九日(土) 十三時十分演奏予定

